

令和 4 年 9 月 2 日 メルボルン交流抄

「独創的な陶芸家アカディア先生の集大成」

現在、在メルボルン日本国総領事館の展示スペースでは、メルボルン在住の陶芸家、ピーター・アカディア先生の作品の集大成を展示しています。(2022 年 9 月 30 日まで)

明るくて陽気なアカディア先生はイタリアで生まれ、1956 年にオーストラリアに移住して来られました。アカディア先生は日本の伝統的な陶芸も探究しつつ、独創的な陶芸作品を創り出しておられます。これまで 30 年にわたりラトロブ大学でアーティスト・レジデンスとして陶芸を教えてこられ、今はエルサムで工房兼ギャラリーを営んでおられます(peteraccadia.com)。



普段は優しい目をしておられますが、ひとたび、自分の作品を見つめる際の鋭い眼光は、正しくプロの目そのものです。

アカディア先生の作品が独創的なのは、まず焼き方にあります。陶磁器を焼く際に火炎の熱から守る「こう鉢」という耐火性の容器に、貝殻や木、紙を敷き詰めて一緒に焼くという技巧を使います。この技巧を使うことで、色彩や柄が非常に素晴らしいユニークな作品となり、観る人を包み込む優しさが伝わってくるような作品となります。

アカディア先生の独創性は形状にもあります。捻ったような形に見える力強い作品は、土が柔らかいうちに削って形状を創るものだそうです。これまでに観たことがない独自の美的感覚を持つ作品だと思います。

最後に、アカディア先生の夫人は紀子さんという日本人の方で、長年に亘り自身の仕事をこなしつつ彼の陶芸活動を支えてこられました。今でも仲睦まじいお二人の姿には心が打たれます。ますますのご活躍を願っています。

総領事館での展示は9月一杯です。皆さん、このメルボルンの陶芸家の集大成をお見逃しくなく！

